

事項	大玉で外観が優れ、良食味な日本なし試作品種「あきづき」の特性		
ねらい	本県の日本なし晩生品種は「長十郎」が主体となっているが、「長十郎」よりも高品質な品種が望まれている。「あきづき」は10月上旬から中旬に収穫できる晩生の赤梨で、大玉で外観が良く、果実品質も優れていることが明らかとなったので、試作する上での参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 来歴</p> <p>本品種は昭和60年に農林水産省果樹試験場（現：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所）において、「162-29」（「新高」×「豊水」）に「幸水」を交配して育成された果皮が黄赤褐色の赤梨である。平成10年に「なし農林19号」として命名登録され、平成13年に品種登録された。</p> <p>2 果実特性</p> <p>(1) 収穫期：10月上～中旬（「長十郎」よりも1週間程度早い）</p> <p>(2) 大きさ：450g程度（「長十郎」と同程度～やや大きい）</p> <p>(3) 果形：扁円形</p> <p>(4) 果皮色：黄赤褐色で全面さびに覆われ、外観は良好。</p> <p>(5) 玉揃い：良好</p> <p>(6) 食味：糖度は12%程度、酸度は0.15g/100ml程度で酸味はほとんど感じられず、肉質は緻密でやや軟らかく、多汁で、食味は良好。</p> <p>(7) その他：有てい果が多数混在する。</p> <p>3 その他の特性</p> <p>(1) 開花期：5月上中旬（「幸水」とほぼ同時期）</p> <p>(2) 樹の性質：樹勢は強く、枝の発生は多い。</p> <p>(3) 花芽の着生：短果枝及びえき花芽の着生はやや少ない。</p> <p>(4) 交雑和合性：S遺伝子型はS3S4と推定され、「幸水」、「八雲」、「多摩」、「長十郎」と和合性がある。自家結実性は低い。</p> <p>(5) その他：心腐れ、みつ症状の発生はほとんどない。黒斑病抵抗性を示す。日本なしの慣行防除で問題はない。</p> <p>4 栽培上の留意点</p> <p>(1) 短果枝やえき花芽の着生が少なく、短果枝の維持が難しいため、側枝を多めに確保して、結実確保に努める。</p> <p>(2) 上向きの果そうでは軸折れが発生しやすいので、上向きの果実は摘果する。</p> <p>(3) 収穫が遅れると果肉崩壊症（す入り）などの果肉障害が発生する恐れがあるので、適期収穫に努める。</p>		
期待される効果	「あきづき」は基本品種である「幸水」と補助品種の「長十郎」の間に収穫ができ、「長十郎」よりも果実品質が優れ、消費者嗜好に合っているため、品種選択の幅が広がり、品種構成の多様化が図られる。		
利用上の注意事項			
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合センターりんご試験場 県南果樹研究センター (神田由起、山道和子、工藤秀樹)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成17～20年度 青森県農林総合センターりんご試験場県南果樹研究センター試験研究成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「あきづき」の開花期及び果実品質 (平成17～20年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

品種名	年次	開花日 (月日)	満開日 (月日)	落花期 (月日)	収穫日 (月日)	一果重 (g)	地色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
あきづき	平17	5/ 8	5/14	5/23	10/12	408	3.4	4.6	11.8	0.12
	平18	5/13	5/15	5/24	10/11	412	4.0	4.5	12.4	0.16
	平19	5/ 9	5/12	5/19	10/ 5	453	3.6	4.4	11.4	0.17
	平20	5/ 2	5/ 3	5/13	10/ 1	526	3.9	4.1	11.7	0.13
	平均	5/ 8	5/11	5/20	10/ 8	450	3.7	4.4	11.8	0.15
長十郎	平17	5/ 7	5/11	5/21	10/18	409	4.0	6.7	12.9	0.21
	平18	5/11	5/13	5/20	10/18	334	4.5	6.2	12.5	0.29
	平19	5/ 7	5/ 9	5/18	10/11	407	4.4	6.8	11.9	0.24
	平20	5/ 1	5/ 2	5/10	10/ 7	511	3.7	6.8	12.1	0.21
	平均	5/ 7	5/ 9	5/18	10/14	415	4.2	6.6	12.2	0.24
幸水	平17	5/10	5/16	5/25	9/18	331	3.0	5.3	11.3	0.10
	平18	5/13	5/15	5/22	9/19	304	3.5	5.5	11.8	0.13
	平19	5/ 9	5/11	5/21	9/14	318	3.7	5.1	12.4	0.10
	平20	5/ 2	5/ 3	5/13	9/16	340	3.4	5.3	11.6	0.10
	平均	5/ 9	5/12	5/21	9/17	323	3.4	5.3	11.8	0.11

- (注) 1 調査樹の樹齢は平成20年で「あきづき」が8年生、「長十郎」及び「幸水」が36年生
 2 調査樹の仕立法はいずれも立ち木仕立て、平成19年から防鳥網を設置
 3 地色は「ニホンナシ(地色)」のカラーチャートを用いて、1(緑色)～6(黄色)で判断
 4 硬度はペネトロメーター型硬度計で測定
 5 糖度はBrix、酸度はリンゴ酸換算

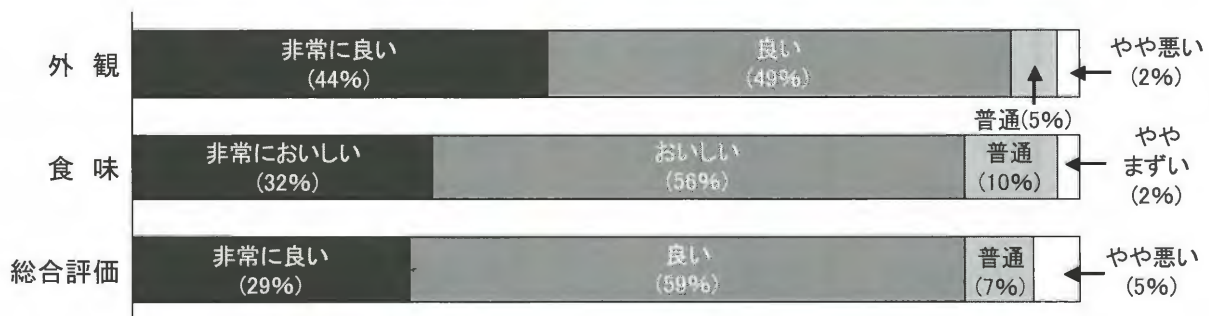


図1 「あきづき」の試食アンケート結果 (平成20年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

- (注) 1 試食アンケートには10月3日収穫の果実を使用
 2 回答人数は合計41人で、調査日は10月3日が19人、10月16日が22人
 3 試食アンケートの対象者は青森農林総研りんご試県南果研セ職員及び第3回りんご等果樹生産技術研修会出席者



写真1 「あきづき」の結実状況



写真2 「あきづき」と「長十郎」の収穫果実